

R6年度 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長、管理者から理念について説明を行っている。理念が浸透するよう、玄関入り口に掲示し、毎月のケア会議や日々のケアミーティングの中でも確認し理念を念頭においたケアを心がけている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で今まで地区の行事に参加出来ていなかったが今年は参加を予定している。年2回地域向けのお便りの発行、梨狩りで取れた梨をご近所の方に利用者の方と一緒に配るなどの交流がある。駅伝の応援の参加もしている。	(家族)地域のボランティアや駅伝の応援等、地域との交流を積極的に図っておられるのを感じる。 (あんしん支援センター)コロナも5類へ移行し1年余りが経過した。感染予防対策を継続しながらコロナ前のように地域とのつながりが図られるような取り組みを実践されていると思う。 (市役所)地域住民との交流について、今度とも続けていただきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議で委員の方から受けた助言やアドバイスを職員へ情報共有を行いサービスに反映させている。利用者支援に対する評価や、アドバイスなど、様々な意見をいただき参考にしている。	(家族)アドバイスとも言えない単なる感想だが、しっかり聞いていただき日々の介護に生かしておられるのを感じる。 (あんしん)2カ月に1回定期開催され、事業所の取り組みや入所者の方の様子を丁寧に説明されている。参加者からの意見が出やすいような雰囲気がある。 (市役所)参加者全員に話を振る等、積極的に意見集約を行っておられ、良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で情報交換を行っている。また、随時事故報告や介護保険制度等の疑問点について市の担当者と連絡を取ることで、連携を図っている。	(家族)運営推進会議に行政の担当者も参加してもらい意見交換がなされるのはとても有意義だと思う。 (市役所)GH軽減事業についても、不明点等あればすぐに連絡をいただいている。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止・虐待防止部会を定期的に開催（4回/年）し、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為や身体拘束を行うことでの弊害等についての理解を促し、身体拘束を行わないケアを行っている。定期的な研修開催（2回/年）も行っている。玄関の施錠については、一般家庭と同じように夜間（20時～7時半）は施錠を行い、日中は自由に出入りできる環境とし、行動制限することなく見守りで自由に過ごしてもらえるよう対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	（家族）難しい問題だと思う。体力が衰えて自力で動けなくなると拘束の必要性はなくなるが寂しいことでもある。拘束せずに事故が起きれば責任問題になる。一般論では片付かないと思う。 （あんしん支援センター）定期的に部会や研修会を開催し、職員が身体拘束や虐待について十分に理解し、ケアにあたっていると思う。 （市役所）引き続き研修等行っていただきたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者、職員とも内部・外部の研修に参加し、学ぶ機会を確保している。また、日々の中では、毎月ケア会議を活用し不適切ケアについて考え自分自身のケアの振り返り機会としている。また、職員のストレスケアとして、管理職による面談（2回/年）や日々の職場の雰囲気づくり、声掛けなどに配慮をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	（家族）職員がストレスなく介護に専念でき、喜びが感じられるような職場にすることだと思う。余裕がないと虐待に繋がる。 （第三者委員）高齢者虐待がそもそも具体的にはどういふものなのか。対応職員の処遇技術の未熟からくるものか？言葉遣いの不足か不適切か？私の母親の入院・デイサービスでの不適切なケースを言えば「夜間コールを押すな」と言われたりトイレ介助をお願いしたら「先ほどトイレに行ったばかりでしょう」と言われた。この二人の看護師も介護職員もごく普通のいい人だが忙しかったかもしれない。人手不足が原因のケースだったかもしれない。 （あんしん支援センター）内部・外部の研修に参加するだけでなく、毎月のケア会議を活用し、自身のケアの振り返りを行うことは良い取り組みだと思う。 （市役所）不適切ケアの振り返りについて、今後とも続けていただきたい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は研修などを通して学ぶ機会を持っている。職員に関しても定期的に研修の機会を設け、学んだことを研修復命することで他職員への周知に繋げ、日々の支援に活用している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は契約書・重要事項説明書を用いて説明を行い、利用者・家族の疑問に答えながら理解を図っている。解約時も十分な説明を行い、利用者の状態に見合った受け入れ先確保に努めている。体制や加算等の変更時も文書を用いて分かりやすい説明を心掛けている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃から意見や要望が言い易い雰囲気作りに努めるとともに、苦情受付窓口の明示や、事業所内に意見箱を設置し、意見を出しやすい環境作りをしている。年1回家族アンケートを実施し、アンケート結果をケア会議で話し合い、運営に反映させている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>(家族)定期的な情報交換の機会もあり、気になることは何でも相談できている。面会もしやすくなったので細かな情報交換もできると思う。</p> <p>(第三者委員)年1回の家族アンケートでは恐らく肯定的な感謝的な意見が多いと思うが、マイナスな意見がありそれを会議で話し合い解決の方向にもっていったケース等あるか？</p> <p>(あんしん支援センター)家族や利用者の方から意見や要望が出やすいように配慮されていると思う。</p> <p>(市役所)運営推進会議でも利用者家族様が発言しやすいように話を振る等配慮しておられる。</p>
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全体会議(1回/年)やケア会議(1回/月)日々のミーティングで意見が言い易いよう、雰囲気作りに配慮している。会議前には、事前に議題を決め当日会議に参加できない職員の意見も反映できるように紙面での参加を促している。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	正規職員には人事考課制度が設けられている。年に1～2回、施設長や管理者との面談もあり、それぞれの思いや職場環境等については把握・改善に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)よく分からないが、職員の様子を見ると、いきいき楽しそうに働いておられ、良い環境におられるのを感じる。 (あんしん支援センター)正規職員以外の方へはどのような対応がなされているのか？ (施設)定期的な面談の機会を設けている。日頃からも話を聞くようにしている。 (市役所)職員が施設長や管理者へ思いを伝える場があるのは良いと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の研修や母体施設での園内研修、外部研修へ参加をする機会を設けている。また実際に業務を行いながらの指導(OJT)も行っている。資格取得についても情報提供を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)よく分からないが社会福祉事業団というしっかりした組織の中で一人ひとりが力をつけておられるように思う。 (第三者委員)事業団全体で正規・非正規の職員採用時に、資格の有無の要件があるのか。 (施設)ない。法人内で実務者研修を開催しており、実務経験3年経過すれば受講でき、費用はテキスト代のみ自己負担としている。正規職員は資格取得時に奨励金が支給される。 (あんしん支援センター)法人内の人材育成プログラムが確立されており、職員を育てる取り組みが行われている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナの影響で出雲地域の認知症グループホーム連絡協議会主催の研修や研究・実践発表会は中止となっている。法人内で交流体験研修を実施している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の今までの生活習慣や価値観を尊重した対応を心掛けている。今までの生活で培ってきた様々な知識や経験を教えてもらい、それらを発揮できる場面作りを行っている(地域の歴史を語ってもらったり調理や年中行事を共に行う等)。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5月より居室面会が出来るようになり家族からゆっくり話す事が出来て嬉しいとの言葉が聞かれた。 馴染みの美容院に行かれる方がおられたり家族から連絡があった際は職員が介入し電話越しに話をしてもらう機会を設けるなど今までの関係が途切れないように支援している。ご家族には、日々の様子が分かるように毎月広報誌を郵送している。	(家族)居室での面会ができるようになりスキンシップ等の交流がしやすくなり喜んでいる。面会が3人までできるようになったので孫でも連れて会いに来ようと思う。 (あんしん支援センター)居室で面会ができるようになったことは、本人や家族にとって良い時間になると思う。感染対策とのバランスは大変だと思うが、取り組みは継続されると良い。 (市役所)コロナの影響がある中、関係継続に向けて充分取り組んでおられると思う。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室担当が主となって普段の会話の中からご本人の意向や要望を汲み取っている。それを職員間で情報共有し、支援に活かしている。意思表示が難しい方には、生活歴を参考にしながら声掛けを行い日々の表情の変化の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職員以外にも看護師、管理栄養士、作業療法士とも連携を図り、課題解決に繋がるケアの方法を検討している。家族には面会時及び担当者会議時に意見を伺い介護計画に反映している。	(家族)定期的な情報交換は言うまでもなく、体調の変化等について、職員や看護師から適宜連絡や相談があるのは心強い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(市役所)介護職以外にも意見を求めたりと、多様な意見を反映しておられ良いと思う。 (あんしん支援センター)多職種が各々の専門性を活かしながらチームで検討することで、より良いケアに繋がっていると思う。 (第三者委員)介護施設にとって、最も基本的かつ大切にしたい部分である。とかくマンネリになりやす部分でもあると考えるが、貴施設のありようは平素から高く評価している。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの気づきを記録に残し職員間で情報共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。毎月の会議でケアの評価を行い介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)母の生活ぶりや健康状態について、職員の皆さんがよく把握しておられ、機会あるごとに伝えていただいている。 (市役所)会議等、情報共有を図っており、良いと思う。 (あんしん支援センター)日々の記録を職員間で共有するだけでなく、きちんと評価し見直しに活かすことを意識して取り組んでおられると思った。 (第三者委員)とかく多忙を理由におざなりになりやすい部分だと考えるが、組織の強さとスタッフ共通認識の確かさを十分に生かした取り組みがなされていると感じている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診の際は基本的にはご家族に対応をお願いしているが、突発的な受診でご家族が対応できない時など、必要に応じて通院送迎等の支援を行っている。また、入居者のその日の機嫌や体調に応じて外出や入浴時間の変更を行うなど柔軟な対応を心掛けている。	(家族)母の入院に際しては車椅子対応の車で送迎していただき、家族としてはとても楽だった。看護師さんも病院に来ていただき心強かった。		(市役所)利用者の意向に合わせて外出等、調節しておられ、利用者が生活しやすい環境ができているように感じた。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の夏祭りに参加したり、ボランティアの協力を得ながら秋の出雲駅伝の応援に出掛けている。地域のスーパーへ買い物に出かける機会をつくり、週に1回は、スーパーの移動販売を利用して好みのお菓子や日用品を選んで購入してもらっている。	(家族)地域の行事に参加したり、地域住民の代表を運営推進会議の委員に加えるなどして地域とのつながりを大切にしている。		(市役所)コロナで難しい部分もあると思うが、引き続き取り組んで欲しい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時にご家族の希望を聞き、在宅時からのかかりつけ医を継続したり変更できるよう支援している。体調変化時は看護師・管理者を中心に、ご家族に相談をしながらかかりつけ医			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				に情報提供を行いスムーズに医療を受けられよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	4月から協力医療機関との連絡会議を月1回開催して入居者の情報提供を行いスムーズな入院受け入れに繋がっている。入院中はできるだけ早期に退院できるよう病院の相談員とこまめに連絡を取り合っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>(家族)突然の入院時は不安だったが、看護師に来ていただき、病院にも付き添っていただいた。入退院の時は車椅子対応の車で送迎していただきとても助かった。</p> <p>(市役所)情報提供、相談員との連絡を密にしておられる。今後も継続していただきたい。</p> <p>(あんしん支援センター)今年度より協力医療機関との連携体制がより強化。看護師も配置されており十分に連携が図られていると思う。</p> <p>(第三者委員)組織の確かさが医療機関との信頼関係をより確かなものになっていると感じている。これもひとえに貴施設の日常の努力の積み重ねの成果と考える。利用者の皆様や家族の皆様にとっても何よりの安心だと考える。</p>
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合における対応の指針を整備し、ご家族に説明を行っている。重度化した場合や継続した医療行為が必要となった際はその都度ご家族に事業所でできることを説明し、できるだけ希望に添えるよう、かかりつけ医や併設の特養とも連携を図っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>(家族)重度化した場合の対応については入所時から話し合っており、不安感はない。併設の特養とも連携が図られており、安心感をもって日々の生活を送ることができている。</p> <p>(市役所)重要な部分であるため、今後も適切な説明・意向の確認をお願いしたい。</p> <p>(あんしん支援センター)入居年数が長い方も多いと伺っている。年数の経過やその時の状況によって希望が変わることも考えられるので、本人・家族の気持ちに配慮しながら引き続き取り組んでいただきたい。</p>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
							(第三者委員) 厳しい現実だが、方針の共有と支援は利用者本人はもとより、家族にとっても温かい受け止めに繋がるのではないかと。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に併設の施設で開催される救急法の研修に参加している。緊急時の応急処置等のマニュアルを作成。AEDも設置している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアル等で周知を図っている。防災訓練は年2回実施し、実際の災害を想定した訓練を行っている。訓練後には反省会で意見を出し合い、改善を行っている。周辺自治会や消防団との協力体制を築いている。	(家族) 併設の特養には2階があり、すぐ近くに同じ事業団の特養もあり緊急時の対応としてはとても恵まれていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(市役所) 水害等が多くなっているため、引き続き取り組んでもらいたい。 (あんしん支援センター) 周辺自治会や消防団といった地域との協力体制は、火災時対応においてはとても重要なことだと思う。 (第三者委員) 災害における対応に100%はないと考える。ここに、組織としての対応の強さが発揮できるのではないかと。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人生の先輩として敬い、適切な言葉かけや対応を心がけている。親しみを込めることで馴れ馴れしい言葉遣いになってしまう場面もあり、ケア会議の場で振り返る機会をつくり、注意を促している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族) いつも本人の気持ちを汲み取って対応していただいている。 (市役所) 感じ方は人それぞれであり、気にする利用者もおられるかもしれない。降り返りをして日々心掛けていただきたい。 (あんしん支援センター) 定期的な振り返りの場をもつことは必要なことだと思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の本人の体調や心持ちに応じて入浴、食事、外出など可能な限り希望に添えるような対応をとっている。会話の中からどのような事を望んでおられるか聞くよう心がけ、支援に活かすようにしている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の盛り付け、配膳、片付け等、それぞれの過程で、有する能力に応じて実施可能な方には職員と一緒に取り組んでもらっている。週3回、入居者の方と味噌汁作りを行っており、具材についても一緒に買いに行き好みの物を選んでもらう機会を設けている。また、不定期ではあるが余暇時間を利用してホットケーキ等のお菓子作りを行っている。な		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)母が食事が食べられなくなり入院し、退院後も食べられなかったが、今は職員の皆さんのお陰でほぼ完食することが出来るようになった。食事を作ることが好きなのでできることがあればさせて欲しい。 (あんしん支援センター)利用者の「〇〇したい」気持ちを引き出し、実行できるような支援を今後も続けていただきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回食事・水分摂取量を把握し、職員間で情報共有している。食べにくいものがある方はソフト食や刻み食の提供も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介助が必要な方は毎食後声かけを行い、一人ひとりに合ったケアを行っている。その際、口腔内・義歯の状態を観察し、異常があれば家族に報告・相談し歯科の往診を依頼している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)毎日の食後の声掛けをしていただき、会った時は歯がいつも綺麗です。 (あんしん支援センター)認知症のある方の歯科受診は難しい面があると思うが、往診で少しでも不安が少なく治療を受けられると良い。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄間隔に応じて声かけを行い、必要な支援を行っている。また、排泄状況を記録に残し、それを元に必要時はパットの種類や声かけの時間帯等の見直しを行っている。スムーズな排便を促すために、毎日オリゴ糖を摂っていただき、水分摂取量の把握も行っている。水分摂取量が少ない場合は時間をあけてこまめに勧めたり好みの飲み物を提供する等工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)失敗するときもあるため、定期的に声掛けしていただき、本人も助かっていると思う。 (あんしん支援センター)事業所内の対応策が確立されていると感じた。 (市役所)一人ひとりに応じた丁寧な支援を行っておられる。今後も継続して欲しい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日おきの入浴を行っている。本人の気分や体調により入浴の順番や日にちを変更するなど柔軟に対応出来るようにしている。			(家族)母も入浴が好きなので、沢山入れて欲しい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の睡眠状況、その時の表情や言動等に応じて、適宜休息の時間を設けている。夜間は安眠できるように日中の活動量を増やしたり午睡の時間が長くなりすぎないように配慮している。			(家族)家に居る時はあまり眠れず、今は十分睡眠がとれ、生活リズムが正しくなっていると思う。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の効能や副作用が記載された説明書をファイリングし、すぐに取り出せる場所に保管していつでも確認できるようにしている。服薬時は必ず2名で薬袋の印字確認を行い誤薬予防に努めている。特に薬変更時には服用後の変化を詳しく記録に残すようにし、問題があればかかりつけ医に報告をしている。薬の管理や相談(飲み合わせの確認、薬が飲みにくい場合の変更等)を行い、服薬に関するサポート体制もとれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)精神的に不安定になった時があり薬が処方となった。今は安定しているので、何かのタイミングで薬を変更された時は本人の状態を十分観察してもらいたい。 (市役所)適切な服薬管理、かかりつけ医との連携ができている。 (あんしん支援センター)事業所内の管理・確認方法や、かかりつけ医との連携体制等、しっかりとしたシステムが確立していると感じた。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や聞き取りから把握したその方の役割、好きなこと、得意なこと等について情報共有の場を設け、実施できるよう話し合いを行っている。具体的には家事の手伝いをしてもらったり、工作、歌番組やお好きな番組等を録画いつでも見れる環境を作っている。	(家族)楽しく過ごせる雰囲気をつくってもらったり、季節に応じた催しをしてもらい喜んでいる。 (市役所)一人ひとりの人生経験や得意なこと等を取り入れることは利用者の生きがいや認知症予防にも繋がると思う。今後も大切にしたい。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間を通して外出計画をたてて実施している。日常的には天候を見て庭の散歩を行ったりドライブを実施している。ボランティアの協力を得ながら駅伝の応援などにも出かけている。	(家族)自分もできるだけ外出に連れて出てあげたいと思う。勤め先の出雲村田で、地域との交流活動として椿と桜の植栽を一般公開しています。行かれるようであれば資料をお持ちします。 (施設)是非、お願いします。夏冬は気候が厳しく外出がしにくい現状があるが、車内から外の景色を眺めるだけでも気分転換になるため、ドライブだけでも実施していきたい。買い物や外食など、ご家族の協力も可能な範囲で依頼していきたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	預り金の取り扱いは昨年度で終了しており、必要時は事前に現金を持参してもらい、自分の財布からお金を支払えるよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの希望があった場合はご本人へ代わって直接会話してもらう機会を設けている。年末には家族宛の年賀状作成を支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節や時間が分かるように季節毎の生花を飾ったり、時計・日めくりカレンダーを見やすい場所に設置している。温度や湿度への配慮も行い、安全で快適な環境作りを意識している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)空調は快適で十分にできていると思う。 (市役所)施設内は清潔感があり過ごしやすい空間になっていると思う。安全・快適さに配慮しておられて良い。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話からどのような暮らしを望んでおられるのかを知る機会を持つようにしている。また、ご本人が自分の思いを話しやすいような環境作りを行っている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所後も家族・友人関係が途絶えないよう面会時や電話対応でご本人との関係が継続できるよう支援を行っている。また、ご家族からの情報、ご本人との日々の会話の中からの情報を得て職員間で共有し、支援につなげている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調変化に早期に気づいて対応できるよう毎日バイタル測定を行っている。体調や認知・身体機能の変化に応じてケア方法の見直しを行って実践している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(市役所)毎日のバイタル測定や日々のケアの見直し・実践が行われており良いと思う。 (あんしん支援センター)利用者の個々の状態の把握や変化への対応について、スタッフ間で共有し、細やかに対応しておられると感じる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の生活習慣や生活リズムにできるだけ沿った暮らしができるように支援している。共同生活ということもありご本人の意向に添えない場合は都度理解していただけるよう説明を行っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	使い慣れた食器(茶碗、湯飲み、箸)に加え、自宅で使っておられた愛着あるものや馴染みのあるものがあれば持参していただくよう家族に依頼している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(家族)私が出した年賀状が居室に飾ってあり嬉しく思いました。 (市役所)家族とも連携しながら利用者の思いを大切にしておられて良いと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外気に触れて気分転換できるようにできるだけ散歩やドライブの機会をつくるようにしている。今年から地域の夏祭り参加を再開している。地区の秋祭り(文化祭・農業祭)にも参加している。	(第三者委員)今年は1/18に、よつがね冬まつりを開催します。正月遊びや色々なブースを設けて賑やかに開催予定ですので、よろしければご参加下さい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や日々の会話の中からそれぞれの楽しみややりたいこと等の把握をし、きること・できないことの見極めを行った上で役割を担ってもらっている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	それぞれのお好きなことや得意なことを把握し、それらを発揮できる機会をつくるようにしている。踊りの得意な方に夏祭りで踊ってもらったり、畑仕事が得意な方には野菜の育て方を教えてもらい、収穫の機会をつくっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>(第三者委員)高齢になると反応が遅くなり、早く対応することができなくなる。私自身 DR より物を書くことをすすめられた。利用者の皆さんにも是非そうした機会を作っていただきたい。</p> <p>(市役所)利用者が得意なことを発揮できる機会をもうけておられて良い。今後も続けていただきたい。</p> <p>(あんしん支援センター)運営推進会議での報告やお便りに掲載されている皆さんの写真から十分に取り組んでおられる様子が伝わる。</p>
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の祭り参加に加え、地域向けお便りを利用者の方と一緒に近所に配ることで、近隣住民の方と関わる機会をつくっている。	<p>(第三者委員)近所にお便りを配る機会は何れくらいあるのか？</p> <p>(施設)年2回行っている。有事の際には駆けつけてもらうことになっている。</p>		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の思いを受け入れ、物忘れをしても介助が必要になっても大丈夫と、安心して暮らしてもらえることを意識して支援している。共同活動を通しての利用者同士の交流、地域の人々との交流も心掛けている。	<p>(第三者委員)利用者の本当の気持ちをどれだけ出されているか。穏やかな生活も諦めの穏やかさかもしれない。諦めると急速に衰えが進んでしまうため、そうならないような手立てを考えていただきたい。</p>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>(あんしん)十分にできていると思うが、地域との関わりが不十分ということでBと評価されたと思う。</p> <p>(市)利用者同士や地域との交流は今後も積極的に行っていただきたい。</p>